

2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2021年12月14日

上場会社名 株式会社アピリッツ 上場取引所 東
 コード番号 4174 URL <https://appirits.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 和田 順児
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 永山 亨 (TEL) 03-6690-9870
 四半期報告書提出予定日 2021年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の業績(2021年2月1日~2021年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	3,493	21.3	122	△18.3	108	△27.4	51	△40.5
2021年1月期第3四半期	2,879	—	150	—	150	—	86	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年1月期第3四半期	13.39		12.21					
2021年1月期第3四半期	26.79		—					

- (注) 1. 当社は、2020年1月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2021年1月期第3四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2021年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株式数が把握できないため、記載しておりません。
3. 2022年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式が2021年2月25日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、新規上場日から当第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 当社は、2020年9月11日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を、2021年10月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割をそれぞれ行っております。2021年1月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	2,397	1,832	76.4
2021年1月期	2,079	1,533	73.7

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 1,832百万円 2021年1月期 1,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年1月期	—	0.00	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は、定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定のままであります。

3. 2022年1月期の業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,754	22.2	86	△62.5	73	△68.1	25	△80.1	6.54

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 1株当たり当期純利益については、2021年2月24日付で払込完了した公募増資分（190,000株）及び2021年3月24日付で払込完了したオーバーアロットメント分（36,000株）並びに当第3四半期末までの新株予約権の行使による期中平均株式数を考慮して算定しております。
 3. 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。2022年1月期の業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割数を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	3,895,800株	2021年1月期	3,213,300株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	一株	2021年1月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	3,823,756株	2021年1月期3Q	3,213,300株

(注) 当社は、2020年9月11日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を、2021年10月1日付で普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割をそれぞれ行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、決算に関する説明（動画）及び説明資料について、速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が再発令される等、経済活動や個人消費が再び制限を受けることになりました。感染の拡大は現時点では一時的に収まっているものの、未だ完全な感染終息が見通せないことから、先行き不透明な状況が続いております。

当社が属するインターネット業界・オンラインゲーム業界においては、大手企業を中心に「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」と呼ばれる既存のビジネスモデルや業界構造を大きく変化させる新たなデジタル化の流れが、引き続き力強いものとなっております。加えて、感染症対策としてのリモートワークの環境整備など、ITに対する底堅いニーズがある一方で、一部の企業では業績悪化によりIT投資を縮小・延期するケースも発生するなど、楽観視はできないものとなっております。

このような環境の中、Webソリューション事業においては顧客のDX化を実現するパートナーとして、既存顧客と継続的な取引を可能とする品質の担保、また、DX化推進のために周辺サービス(ASPサービス(注)等)のラインナップを強化することにより、顧客との接点を増加させることによる新規案件の獲得やDX化の市場ニーズの高まりに伴う大型案件の獲得に努めました。

また、オンラインゲーム事業においては、自社ゲーム開発における新作「式姫Project」の開発に着手するとともに、既存運営タイトルについても売上の維持を図りました。パートナーゲーム開発においては、株式会社セガから「けものフレンズ3」の運営移管を行い、売上のさらなる拡大を図りました。「クリエイター派遣」においては売上の維持に努めました。

第2四半期累計期間においては、両事業ともに、売上は2021年3月17日に発表した通期業績予想を上回る結果となりましたが、Webソリューション事業において顧客需要を取り込むための外注費が増加したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言等が延長された結果、リモートでの開発が長期化したため、それに伴う人員調整としての外注費が増加いたしました。オンラインゲーム事業においては、他社運営ゲーム「けものフレンズ3」の運営移管に関わる費用が想定を上回り、原価が増加したことに加えて、自社ゲーム開発における新作「オーバーエクリプス」が、当初予定した収益を見込めなくなったことから、ソフトウェア全額の減損処理を行なったことにより、2021年9月10日に業績予想の修正を行いました。

当第3四半期会計期間のWebソリューション事業においては、新型コロナウイルス感染症の感染終息に見通しがたない中で、高度化する顧客ニーズを取り込むための外注費の増加が見込まれ、依然として不透明な状況が続いているため、外注費以外の原価について抑制を図り、全体としてのコスト圧縮に努めました。

オンラインゲーム事業においては、8月1日より「けものフレンズ3」の運営主体が当社に完全に移行したことにより、移管に係るコストの発生がなくなったことに加えて、運営体制の適正化による外注費等の抑制を図ることに努めました。また、自社ゲームである「アンノウンブライド」、「オーバーエクリプス」については、2021年10月28日をもってサービスを終了し、経営資源を新作ゲームの開発等に振り向け、再分配いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高3,493,103千円(前年同四半期累計期間比21.3%増)、営業利益122,923千円(前年同四半期累計期間比18.3%減)、経常利益108,971千円(前年同四半期累計期間比27.4%減)、四半期純利益51,203千円(前年同四半期累計期間比40.5%減)となりました。

(注) アプリケーションサービスプロバイダの略語。アプリケーションをインターネットを通じてサービスとして提供する事業者及びソフトウェアのレンタル事業者を指します。

当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりです。

① Webソリューション事業

Webソリューション事業においては、引き続き市場のDX化への追い風の中で、コロナ禍において事業構造変換のためのDX化が急務の顧客からの新規受注に加え、昨年度からの継続顧客からの再受注に注力しました。主にEC事業者等から、「医療系モール型EC」「小売システムサブスクリプションサービス」「デジタルチケット販売」「アパレル系EC」を受注しております。また外注費に関しては第4四半期へ向けて抑制を図りながら、その他経費の圧縮等に努め、既存顧客及び新規顧客からの受注は順調に推移しております。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,573,742千円（前年同四半期累計期間比17.6%増）、セグメント利益は390,889千円（前年同四半期累計期間比1.3%減）となりました。

② オンラインゲーム事業

オンラインゲーム事業においては、「パートナーゲーム開発」における継続案件の開発や「けものフレンズ3」を含めた各ゲームタイトルの運営による売上が順調に推移いたしました。第2四半期累計期間に発生した「けものフレンズ3」の運営移管に係るコストについては、当第3四半期会計期間には発生しなくなったことに加えて、運営体制の適正化により外注費等の抑制を図ることに努めました。「自社ゲーム開発」においては、新作「式姫Project」の開発に着手する一方で、利益率向上のため売上規模に応じた運営体制の見直しを図り、「アンノウンプライド」、「オーバーエクリプス」のサービスを終了することで経営資源の集中と再分配を行い、外注費の抑制に努めるとともに、既存タイトルであるゴエティアクロスの3周年イベントを実施する等により売上の底上げを図りました。「クリエイター派遣」においては、オンラインゲーム事業内において「けものフレンズ3」の運営へ人員を増加させた一方で、需要の増加に対応するため、登録型派遣を再開する等、売上の維持に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,919,361千円（前年同四半期累計期間比24.6%増）、セグメント利益は131,576千円（前年同四半期累計期間比3.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、2,397,707千円と前事業年度末に比べて317,852千円の増加となりました。

流動資産は73,387千円増加し、1,778,761千円となりました。これは主に、現金及び預金が18,789千円、仕掛品が49,509千円、それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は244,464千円増加し、618,945千円となりました。これは主に、「けものフレンズ3」の運営移管等によるのれんが107,155千円、本社増床に伴う有形固定資産が29,057千円、差入保証金が55,670千円、投資その他の資産のその他が53,027千円、それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、565,489千円と前事業年度末に比べて19,502千円の増加となりました。

これは主に、外注費等の増加に伴う買掛金が84,001千円、従業員の増加による未払給与の増加に伴う未払金が26,374千円、その他の流動負債が44,141千円、それぞれ増加した一方、返済により借入金が34,805千円、未払消費税等が59,378千円、未払法人税等が40,530千円、それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、1,832,217千円と前事業年度末に比べて298,349千円の増加となりました。これは、新株発行に伴い資本金及び資本準備金が247,145千円、利益剰余金が51,203千円、それぞれ増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年9月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,032,883	1,051,672
売掛金	562,469	531,749
仕掛品	61,643	111,153
その他	48,510	84,185
貸倒引当金	△133	—
流動資産合計	1,705,373	1,778,761
固定資産		
有形固定資産	34,842	63,900
無形固定資産		
ソフトウェア	1,439	992
のれん	2,118	109,273
無形固定資産合計	3,557	110,266
投資その他の資産		
差入保証金	231,743	287,413
その他	104,338	157,365
投資その他の資産合計	336,081	444,779
固定資産合計	374,481	618,945
資産合計	2,079,854	2,397,707

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,236	106,238
1年内返済予定の長期借入金	39,806	8,315
未払金	270,789	297,163
未払法人税等	40,530	—
未払消費税等	94,818	35,439
受注損失引当金	399	99
その他	74,091	118,233
流動負債合計	542,672	565,489
固定負債		
長期借入金	3,314	—
固定負債合計	3,314	—
負債合計	545,986	565,489
純資産の部		
株主資本		
資本金	448,180	571,752
資本剰余金		
資本準備金	346,350	469,922
資本剰余金合計	346,350	469,922
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	739,337	790,541
利益剰余金合計	739,337	790,541
株主資本合計	1,533,867	1,832,217
純資産合計	1,533,867	1,832,217
負債純資産合計	2,079,854	2,397,707

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年2月1日 至2021年10月31日)
売上高	2,879,208	3,493,103
売上原価	2,004,060	2,677,937
売上総利益	875,147	815,165
販売費及び一般管理費	724,613	692,242
営業利益	150,533	122,923
営業外収益		
受取利息	11	10
前受金取崩益	—	2,908
その他	124	468
営業外収益合計	136	3,387
営業外費用		
支払利息	346	102
株式交付費	—	2,229
上場関連費用	—	14,403
その他	159	602
営業外費用合計	505	17,338
経常利益	150,164	108,971
特別損失		
減損損失	15,896	36,445
特別損失合計	15,896	36,445
税引前四半期純利益	134,267	72,526
法人税等	48,170	21,322
四半期純利益	86,097	51,203

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月25日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場いたしました。上場にあたり、2021年2月24日を払込期日とする公募増資による新株式190,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ103,132千円増加しております。また、2021年3月24日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式36,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ19,540千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金は571,752千円、資本剰余金は469,922千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	Webソリューション事業	オンラインゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,338,279	1,540,928	2,879,208	—	2,879,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,338,279	1,540,928	2,879,208	—	2,879,208
セグメント利益	396,070	127,685	523,756	△373,223	150,533

(注) 1. セグメント利益の調整額△373,223千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	Webソリューション事業	オンラインゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,573,742	1,919,361	3,493,103	—	3,493,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,573,742	1,919,361	3,493,103	—	3,493,103
セグメント利益	390,889	131,576	522,466	△399,542	122,923

(注) 1. セグメント利益の調整額△399,542千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、のれんの金額に重要な変動が生じております。

当第3四半期会計期間において、株式会社セガからの「けものフレンズ3」の運営移管により、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期累計期間においては124,884千円であります。